

行ってきました！「黒岩知事と県民との対話の広場」 アーバンスポーツと地域社会

皆さま、こんにちは。

今年も、生徒会役員と有志の生徒が「黒岩知事と県民との対話の広場」（10月27日湘南会場）に参加しました。

今回のゲストスピーカーのお一人は、世界大会で12度の優勝経験を持つBMXライダーの内野洋平さんです。現在、寒川町に世界一のアーバンスポーツパークを構想しており、2028年1月の完成を目指しているとのこと。もうお一人は、豊島区をはじめ、首都圏各地でアーバンスポーツのイベントを手掛けている鵜崎魚彦さんです。豊島区で開催されたイベントには75,000人が集まり、アーバンスポーツの魅力を広く発信しているそうです。

当日は、県内の高校生(40名程)や市民など120名程度が参加しました。本校の生徒からは、「自分の好きなスポーツであるサッカーや野球を通じて、地域の方々と交流できるイベントを今後企画したい」との意見が出され、実現に向けたアドバイスを求めました。

内野さんと鵜崎さんからは、「イベントを主催する側、そして企画を言い出した若者は、最後までやり遂げることが大切。そのような情熱があれば、周囲の方々からも協力を得られる」という趣旨のアドバイスをいただきました。また、黒岩知事からは、「今、自分が取り組んでいることを続けること。うまくいかないと感じたら、新しいことを考えて、また挑戦すればよい」という励ましの言葉をいただきました。

さらに、グリーンエキスポに関する情報や、特に「かながわ館」、オリジナルミュージカル「Vibrant Inochi (バイブラント イノチ)」などについても、黒岩知事から直接、詳しい説明を伺うことができました。

普段はなかなか聞くことのできない神奈川県庁の行政の取り組みや、自治体と地域住民が連携して進めるアーバンスポーツの活動について知ることができ、大変貴重な機会となりました。県の最新情報に触れ、さまざまな立場の方々の考えを直接伺えるよい機会です。来年度も本校の生徒が参加し、多くのことを学べることを期待しています。

最後に、参加した生徒たちの感想を紹介します。

柘植一真（生徒会長）

「アーバンスポーツの楽しさや魅力について、内野さんも鵜崎さんも積極的に説明されていて、その情熱が伝わってきました。お二人から教えていただいた考え方を、今後の学校生活や部活動の中で生かしていこうと思います。」

相澤悠磨（生徒会書記）

「個人的なことですが、鵜崎さんのお住まいが自分の住んでいる地域と近く、身近に感じて、興味深くお話を聞くことができました。BMXやグラフィティ、ラップなど、普段はなかなか聞くことのできないお話を伺えてよかったです。」

伊澤嘉臣（有志参加）

「知事としっかり話すことができました。これまで、スケートボードなどをしている人には怖いイメージがありましたが、今回、内野さんと鵜崎さんのお話を聞いて、そうではないことが分かりました。」